

DAFS 景況感アンケート (2022 年 12 月)

	6 月	9 月	12 月	先行
受注	84	35	△7	△66
在庫	△5	26	52	34

(ポイント：%)

【概況】

9 月時点でプラスであった受注はマイナスに転じ、先行きは更に急激に悪化すると予想されている。

在庫は過剰な状況が継続する模様。

【アンケートご回答各社コメント】

- 全体的に受注は落ち着いて来てはいるが受注残が多くあり売り上げは堅調。
部品の入手状況は LT の改善が出て来ている物も有るが製品群が同じでも部品によって改善と不足に分かれる傾向が出て来ている（モノ余りの部品も出て来ている）。しかし、アナログ系 IC は全体的に不足の状態が続く模様。
- 先行手配の兼ね合いから、受注は前年同期比 2 割弱減。
- 在庫状況など、「不足」と「過剰」の両面ありましたので、2 つ以上の選択できる方式が良さそうでした。
また、在庫枯渇しているメーカー（製品）については、来年以降も解決には至らない様子もありました。半導体製造装置のアプリケーションでは、大きく受注下降しておりますが、来年下半年から、また回復傾向との話も出ておりました。
- 相変わらず、アナログディスクリートが不足気味

【調査要項】

1. 実施期間：2022 年 12 月 6 日～12 月 28 日
2. 調査対象：DAFS 会員（正会員、賛助会員）
3. 回答数：27 社（回収率 64.3%）
4. 調査方法：会員向けメールにて依頼、Web 回答
5. 分析方法：DI (Diffusion Index)

受注 DI 値 (12 月) = (良い/やや良い) - (やや悪い/悪い)

受注 DI 値 (先行) = (上昇) - (下降)

在庫 DI 値 (12 月) = (過剰/過剰気味) - (やや不足/不足)

在庫 DI 値 (先行) = (過剰) - (不足)

以上